

2006 年 9 月 22 日

ミュージアムがツアーに出発

BMW が博物館建築の国際展示ツアーに参加

ミュンヘン発(2006 年 9 月 21 日発表): 来年 BMW ミュージアムが初めての来場者を迎え入れる前に、ミュージアム自体を世界の専門家たちにお披露目します。展示ツアー「21 世紀の博物館: コンセプト、プロジェクト、建築物」では、建築模型と設計図を使って、2007 年からどのように BMW ブランドを体験することができるか疑似体験ができます。BMW の協賛は 2006 年 9 月 20 日から、ローマの国立 21 世紀美術館(MAXXI)での展示で行われます。

BMW ミュージアムのコンセプトは、完全な年表ではなく、発展的なスケジュールを基本としています。BMW の物語は現在で終わるのではなく、未来に続いていくのです。このコンセプトは、現存の博物館の建築物を発展させていくことだと解釈しました。このため、天井に白と青のロゴを表し、世界的に有名な球体建築物(ボウル形として知られている)は、近隣へ拡張することによって規模を拡大しています。拡大された展示エリアは 5,000 m² になります。施設内の通路、照明、広場の先駆的なシステムによって、来場者を誘導します。展示ツアーでは、BMW は大型の設計図、写真、1:87 スケールの模型を駆使して、このコンセプトを展示いたします。建築模型は、施設内構造と共に新博物館施設の全景を表しています。2 つ目の展示は新博物館の核となる「セントラル・スペース」の構造を明らかにしています。建築物と統合された革新的なマルチメディアは、来場者に特別な体験を提供します。

「21 世紀の博物館: コンセプト、プロジェクト、建築物」は、国際的に評価の高い、バーゼルを拠点とする展示会クリエイターの、バーゼル・アート・センター(www.artcentrebasel.com)によるものです。ワールドクラスの建築家によって始動されたプロジェクトのアイディアと計画は、スーザン・グレーブとティエリ・グレーブによって作られ、クリスティーン・ギシによって実行されました(全てバーゼル・アート・センター)。

BMW AG は新博物館の建築デザインを、シュツットガルトの「アトリエ・ブルックナー」へ委託しました。そしてベルリンの ART+COM が報道会見を担当し、チューリッヒのインテグラル・リュディ・パウアーがグラフィック・デザインを担当しました。

展示ツアーは今日から 2010 年までに 4 大陸の 15 のアート・ギャラリーにおいて、合計 27 のプロジェクトを展示することになります。それらがローマに到着した後は、博物館プロジェクトはリンツとリヨンで展示されます。次回のドイツでの展示は、2008 年 2 月 29 日から 5 月までの間、ベルリン国立博物館のカルチャー・フォーラムを予定しています。そしてドイツでの最後の展示は、2010 年 5 月からミュンヘンの新 BMW ミュージアムの予定です。